

■市民の皆様からいただいた「市長への手紙」に対する回答の内容をまとめました。

○対象となった市長への手紙 : 8件
 ○対象とならなかった市長への手紙: 47件 (匿名、回答不要、市政に直接関係のない内容等のもの。)

■対象となった市長への手紙の回答 (受付年月 令和5年11月分)

※対象となった市長への手紙のうち、1件は個人情報に関する内容となっており、下記に掲載しておりませんので御了承下さい。

対応状況凡例: ○=手紙の内容に応じて対応済
 △=手紙の内容を検討中
 ×=手紙の内容に対応できない

NO.	種別	件名	要旨	対応		所管課
				内容	状況	
1	手紙	広報誌 10月号髷まつり (写真) について	<p>早速ですが、10月の広報しまだ13ページの“島田髷まつり”の写真について、お伺いさせていただきます。</p> <p>第65回島田髷まつりは9月17日に開催され、髷娘36人(小学生6人)・16種類の髪型で、13軒の美容室で担当しました。</p> <p>広報課で取材に来て頂き、その内容が掲載されておりますが、その写真がある美容室に集中しているのではないかとことです。</p> <p>全体で7枚の写真がありますが、その中にある美容室の写真が4枚(1枚目・2枚目・3枚と7枚)で5人が写っております。しかもある髷娘は1枚目と2枚目の2ヶ所に掲載されております。</p> <p>36人の髷娘を13軒の美容室で担当しているのに、ある美容室に集中していると思っておりますがどうでしょうか。又、さわやかしまだも3人全員写っております。(1枚目・2枚目・5枚目)</p> <p>36人の髷娘の髪型は、16種類で、そのうち鹿の子島田が4人でお染島田が2人・乙女島田が2人・ぼたんしずくが1人・文金高島田が1人です。(写真の髷娘)</p> <p>広報課の担当者も取材でうちわを見ただけで、どこの美容室から参加しているか判ります。</p> <p>市の広報誌ですので、ある美容室を中心でなくもう少し平等に取り上げた内容で担当者も上司の決裁を得た方が良かったのではないのでしょうか。</p>	<p>広報しまだでは、市からのお知らせ情報を発信するとともに、市民の皆様様の活動の様子などをご紹介します。写真等を掲載するにあたり、特定の個人(または団体)を優遇するような方針はございません。なるべく多くの市民や活動を取り上げられるよう、取材や編集作業を行っています。</p> <p>髷まつりの取材にあたっては、事前に行われた結上げ勉強会と、まつり当日の様子を取材させていただきました。撮影にあたり、髷娘さん全員を撮影し掲載することは難しいですが、うちの記載を見るなどして撮影者が確認できる範囲で、たくさんの種類の髷や幅広い世代の方が写るよう心掛けました。</p> <p>今回も、特定の美容室を中心に上げる意図はなく、市民の皆様様に良い写真を見ていただきたい思いでの編集作業でした。今後はより一層、公平・公正で市民の皆様様に寄り添った取材活動を行い、市からのお知らせや地域の情報などをお届けできるよう、引き続き取り組んでまいります。</p>	○	広報課 (36-7118)

2	メール	11月11日の島田市街（本通り）における自衛隊軽装甲車展示について	<p>11月11日に、島田市街（本通り）において自衛隊軽装甲車が展示され、迷彩服を着た自衛隊員がいて、小さな子供たちに迷彩服を試着、バイクに試乗させるサービスをしているのを見て大変驚きました。 くお尋ねします></p> <p>①この展示は何の目的でどのような内容のことを行ったのですか？ ②どなたが起案してどなたが決定したのですか？ ③参加した自衛隊員と車両の所属と数は？ ④政府は防衛予算を増やし「防衛力強化」と称して「軍事力拡大」を行っている中でのこのようなことには大変危惧を抱きます。市民のこのような気持ちをどう思いますか？ く抗議して、今後同様のことを行わないように要請いたします></p>	<p>①この展示は何の目的でどのような内容のことを行ったのですか。 （回答）11月11日（土）に実施した防災フェアは、市が実施している防災に関する事務事業をはじめ自衛隊や消防署、消防団などの活動等について、広く市民に周知するとともに事業内容の啓発を行うことを目的に開催したものです。 防災フェアの内容といたしましては、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市のハザードマップなどの説明 ・原子力防災に関するパネルの展示 ・自衛隊車両の展示や自衛隊服の試着体験 ・消防車両の展示や煙体験ハウス、消防服の試着体験 ・消防団の加入促進事業 ・起震車による地震体験 ・電気自動車を活用した避難生活モデルの展示 <p>を行いました。</p> <p>②どなたが起案してどなたが決定したのですか。 （回答）市の内部決裁手続きに基づき決定しました。</p> <p>③参加した自衛隊員と車両の所属と数は。 （回答）自衛隊静岡地方協力本部藤枝地域事務所から3人、陸上自衛隊板妻駐屯地第34普通科連隊所属から車両3台と隊員8人が参加しました。</p> <p>④政府は防衛予算を増やし「防衛力強化」と称して「軍事力拡大」を行っている中でのこのようなことには大変危惧を抱きます。市民のこのような気持ちをどう思いますか。 （回答）国の防衛政策に関するコメントは、市として行うべきではないと考えますので、回答いたしかねます。 なお、防災フェア等を通じ、災害出動等に従事する自衛隊を市民が日ごろから身近に感じておくことは、大規模地震等の災害発生時に当市へ派遣される自衛隊にとっても大変有意義なものになると考えています。</p>	×	危機管理課 (36-7320)
---	-----	-----------------------------------	--	--	---	--------------------

3	手紙	リニア建設に伴う大井川水量減少問題について	<p>JR 東海と東電田代取水ダムの大井川水量確保のための放水に同意が得られたとの回答について少々疑問を抱いています。次の点に留意していただきたい。</p> <p>1. 現状の水量が工事中、完成後に東電ダムへ流入するという保証がありますでしょうか？ →トンネルを掘ることによって、現在の表流水が枯渇することは想定していますか？</p> <p>2. 工事中の水確保と完成後の大井川水量の減少が起きた場合の事態について協議されていますでしょうか？ →計算上と実際に工事をやってみた場合には予想外のことが起きます。 想定外であったなどということは許されないことであり、大井川流域に暮らす住民にとって水は金銭補償には替えられないものです。 完成後の水の確保を視野に入れて交渉を進めていただきたい。</p>	<p>島田市は、古くから大井川の恵みにより、豊かな自然環境が形成され、文化の振興・発展がなされてきました。</p> <p>また、大井川の豊富な水は、飲料として利用されるだけでなく、食品や製紙、製薬などの工業やお茶をはじめとした農業など水を使う様々な産業をこの地域に生み出し、流域で暮らす私たちにとって、大井川はかけがえのない存在であります。</p> <p>リニア中央新幹線整備に係る大井川水系の流量減少をはじめとする水問題は、島田市のみならず流域8市2町の60万人を超える住民の生活、そして経済活動に大きく関わる大事な問題です。</p> <p>大井川の水資源については、国のリニア中央新幹線静岡工区有識者会議において水資源にかかる中間報告が出されており、それによれば、トンネル湧水量の全量を導水路トンネル等で大井川に戻せば、中下流域の河川流量は維持されることが示されており、表流水が枯渇するまでは想定されておりません。</p> <p>しかしながら、ご指摘のとおり想定外のことが考えられますので、水資源が減少した場合のリスク管理や、水資源に影響がないか把握するためのモニタリングなど予め検討しておく必要があると考えております。</p> <p>現在、これらも含めて、大井川の水資源の影響については、静岡県地質構造・水資源専門部会が行われているところであります。</p> <p>本市としましては、今後も大井川の水資源の保全に向けて、国や県、流域市町と連携し、取り組んでまいりたいと考えています。</p>	○	戦略推進課 (36-7120)
4	メール	島田市旧庁舎でのサバイバルゲームに関して	<p>26日に予定されている島田市旧庁舎でのサバイバルゲームを中止するよう強く求めます。 市長・副市長が揃ってこんなことを推進するのは、市民として情けなく恥ずかしく言葉になりません。</p> <p>①「サバイバルゲーム」は「模擬戦争」であり、銃で人を殺傷することを何とも思わないように感覚を麻痺させる危険なものです。</p> <p>②憲法は「戦争はしない」と誓っています。憲法を守るべき自治体の長がこの精神をお持ちでないのでしょうか？サバイバルゲームは単なるスポー</p>	<p>(ご提案) 参加者100名のうち、島田市民は何名か、運営業者に明らかにさせてください。</p> <p>(回答) 今回のイベントは、民間提案制度に基づき民間事業者から提案され、当該民間事業者が自ら主催するものです。イベント参加者の情報につきましては、民間事業者が参加申込受付の手続きを経て管理するものですので、市として把握をしておりません。</p> <p>(ご提案) 当日、現場の様子をビデオ撮影して、後日、市民に</p>	×	資産活用課 (36-7124)

			<p>ツだから問題ないと思うこと自体、知性と感性が鈍っていると思わざるを得ません。</p> <p>以下のことを実施してください。これをしないのは自治体の責任放棄と考えます。副市長一人の判断ではなく、市当局として再検討してお考えを、聞かせてください。</p> <p>①参加者100名のうち、島田市民は何名か、運営業者に明らかにさせてください。</p> <p>②当日、現場の様子をビデオ撮影して、後日、市民に公開してください。監視カメラを取り付ける方法もあります。</p> <p>③運営会社は利益を上げます。営利行為に市庁舎を使用させるのは問題ではないですか？</p> <p>染谷市長をずっと支持し応援してきましたが、こんなことを強行するのではもう支持できません。市長は良いことをたくさんやってきましたが、こんなことは、消せない大きな汚点になります。中止をすれば、評価が上がるでしょう。市長自身の言葉でお考えを聞かせてください。</p>	<p>公開してください。監視カメラを取り付ける方法もあります。</p> <p>(回答)</p> <p>今回のイベントの実施に際し、市はその運営に関わらないことから、ゲームが実施される場におけるビデオ撮影は行いません。また、事業者に対してもビデオ撮影は求めず、ビデオ撮影をした場合であっても撮影した動画の提出は求めません。</p> <p>(ご質問)</p> <p>運営会社は利益を上げます。営利行為に市庁舎を使用させるのは問題ないですか？</p> <p>(回答)</p> <p>市の財産の使用を通して使用者が収益を得ることについて、例えば庁舎内に自動販売機が設置されているように、当該財産の本来の使用目的を妨げない限り、収益を目的とする行為のために使用させることは可能です。</p>		
5	メール	サバイバルゲームについて	<p>今朝の新聞報道で初めて知りました。この時期に、公共施設で戦争を連想させるようなイベントを強行するべきではないと考えます。こんな良識を疑う決定はどのようになされたのでしょうか。市長が参加するなどのもつてのほか。市のイメージアップどころか、イメージダウンになるのは明らかです。強行されたなら、島田市民としても恥ずかしい限りです。経済効果よりも中止等のご英断をお願いします。</p>	<p>「戦争を連想させる」等のご指摘については、市としてはそのような前提及び考え方において提案の採用を決定したものではありません。</p> <p>また、民間提案の「サバイバルゲーム」については、安全に配慮し、かつルールに基づいたものであり、広い意味での”スポーツ”ともいえる競技(ゲーム)であると認識しております。</p> <p>なお、当初は市長も参加予定と報道されましたが、戦争を連想するなどの事実とは異なる一部の状況等を踏まえ、これ以上誤解等を招くことはあってはならないとの判断から、参加を見送ることといたしました。</p>	×	資産活用課 (36-7124)
6	メール	リニアについて	<p>市長の発言が紹介された昨日のNHK ニュースより国の環境保全の有識者会議の議論の終了に県が反発していることについて、「全国的な会合や会議に行く」と静岡県が肩身の狭い思いをしていると実感することが多い。水や環境は守らないといけないが、静岡県全体にとってどういう選択がいいのか考えていかないといけない」と述べ、県に解決に向けた姿勢を求めました。</p> <p>引用以上</p> <p>肩身が狭いとはどういうことなのか？</p>	<p>島田市は、古くから大井川の恵みにより、豊かな自然環境が形成され、文化の振興・発展がなされてきました。</p> <p>また、大井川の豊富な水は、飲料として利用されるだけでなく、食品や製紙、製薬などの工業やお茶をはじめとした農業など水を使う様々な産業をこの地域に生み出し、流域で暮らす私たちにとって、大井川はかけがえのない存在であります。</p> <p>リニア中央新幹線整備に係る大井川水系の流量減少をはじめとする水問題は、島田市のみならず流域</p>	○	戦略推進課 (36-7120)

			<p>「肩身が狭い」なんてなんの科学的根拠もない理由で、リニア工事に賛成なんて、やめてくださいね。</p>	<p>8市2町の60万人を超える住民の生活、そして経済活動に大きく関わる大事な問題です。</p> <p>今回、報道で取り上げられた私の発言については、全国的な会議などへ出席した際、静岡県の信頼が損なわれていると感じたので、そのことを率直にお話ししたものです。</p> <p>国土交通省や静岡県では、大井川の水資源と自然環境の保全に向けた専門家による議論が行われております。今回の発言には、この議論について、科学的・工学的に、かつ、県民にわかりやすい情報発信に取り組んでいただきたいという私の思いも含まれています。</p> <p>本市としましては、今後も引き続き、リニア中央新幹線南アルプストンネル工事によって、市民生活や地域産業に影響がないように、国や県、流域市町と連携し、大井川の水資源と自然環境の保全に取り組んでまいります。</p>		
7	メール	お礼と要望	<p>まずは、御礼を申し上げたいと思います。</p> <p>ちょうど1年前ですが、島田市医療センターに父が入院しました。コロナ禍の影響で面会ができず、意識はしっかりしているものの、ベットから動くことも自分で何かすることもできない状況での入院で、家族としては、そばで手となり足となるよう付き添いをしたいところでしたが、ましてや県外在住のため帰省もできない状況で、医療センターの『お見舞いメールサービス』は、とてもありがたいサービスと感じました。入院中は、医療スタッフの方たちにきめ細やかに対応していただき感謝しております。</p> <p>その後、父は他界しました。</p> <p>父の死後事務をするため、お悔やみハンドブックがとてもわかりやすかったです。また、何度も市役所にお電話をしたり、窓口に向い、どの職員さんもとても親切丁寧な対応に感謝しております。</p> <p>ここからは要望になりますが、死後事務で感じたのが戸籍など取得するための手数料金額がかかることに面を食らいました。</p> <p>各自治体独自で何か補助金制度があると、助かる方々がおおいのではないかと感じました。(余談ですが、死亡届提出後、マイナンバーカードがあれば税金や年金などすべての手続きがノンストップ</p>	<p>ご家族が亡くなられた後の手続きでは、複雑なものや期限がある場合もあり、何度も経験することではなく、慣れないお手続きで、大変不安だったと思います。また、必要な書類も、生まれてから亡くなるまでの連続した戸籍や手続きごとに必要な書類を取得すると、書類が大変多くなる場合もあり、ご負担を感じられたことと思います。</p> <p>戸籍・住民票等の手数料につきましては、市の条例で手数料が定められており、死亡に関する手続きのために戸籍等を取得する際の免除等の規定はないため、通常の請求と同様に手数料が必要であることをご理解ください。また、戸籍・住民票等の手数料にかかる補助金の制度やマイナンバーカードを利用した手続きについては、財源の確保や制度が未整備であることなどから今のところ予定がございません。</p> <p>最後に、島田市ではご家族を亡くされて間もないご遺族に寄り添い、その負担を軽減するために、市役所における手続きのワンストップ窓口「ご遺族手続支援コーナー」を開設し、ご遺族にとって最小限のご負担となるよう対応させていただいております。今回、〇〇様に、おくやみガイドブックをご利用いただき、感謝のお言葉をいただいたことを大変嬉しく思っております。これからも、ご遺族に寄り</p>	×	<p>市民課 (36-7194) 病院総務課 (35-2111)</p>

		<p>プできれば、どんなによいかと感じました。) (公的に取得する際は、公用でお金はかからないと聞きます。)そして、もう1点要望があります。医療センターに自動運転の車椅子の導入についてです。</p> <p>羽田空港では、Whill という電動車椅子が自動で目的地まで連れて行ってくれるそうです。東京の大学病院でも導入されているようです。</p> <p>先日、次世代モビリティの試乗会で体験しましたが安定感がありとても好印象でした。</p> <p>父の医療センター通院の話を知ると、新しくできたため検査などの窓口で迷うことがあったそうです。(表示はあるものの)母の介助での車椅子での移動で、広い館内を移動もなかなか体力使うようでした。</p> <p>自動運転の車椅子利用可能であれば、介助者の負担軽減につながり、なんといっても患者自身の気持ちも違うと思います。</p> <p>経費がかかることですので、勝手な要望を申し上げて申し訳ございません。</p>	<p>添い、親切で丁寧な対応に努めてまいります。</p> <p>お父様のご入院に際し、「お見舞いメールサービス」のご利用ありがとうございました。当サービスが〇〇様のお役に立てたと伺い大変嬉しく思います。</p> <p>【病院事業管理者からの回答】</p> <p>病棟スタッフへの御礼のお言葉も本当にありがとうございます。スタッフ一同、とても元気づけられるとともに感謝のお言葉を励みにして、今後ともよりよい診療を心がけてまいります。</p> <p>また、通院の際に検査などの窓口で迷うことがあったと伺い、ご不便をお掛けしました。できるだけ、わかりやすくご案内できるよう努めてまいります。</p> <p>さて、〇〇様からご要望がありました「医療センターに自動運転の車椅子の導入について」ですが、普段から電動車いすをお使いで慣れておられる患者さん自身が乗り入れることはありますが、当院では貸出用の電動車いすはご用意しておりません。</p> <p>その理由は、外来通路が混雑して狭くなっていることが多く、他人と接触する可能性が高いことから事故や怪我等に発展することも予想されるためです。</p> <p>したがって他の患者さんの安全を鑑みて運用は困難であるという判断により、現時点で貸出用の電動車いすを導入する予定はありません。</p> <p>院内の移動については、患者さんや介助される方のご負担を少しでも軽減できるよう、スタッフが介助のお手伝いをするとともに必要最小限の導線のご案内にするなど、職員一同努力してまいりますので、ご理解くださいますようお願いいたします。</p>	
--	--	---	--	--